

はじめまして
私の名前はグエン・バン・ドウオックと申します。ベトナム南部から来ました。今年で30歳になります。3年前に日本へ留学して来て、現在は大阪コミュニケーションカール専門学校で勉強をしながら令和4年の5月28日からラヴィータでアルバイトをさせてもらっています。



私は常に自分を成長させているので働き始めから、利用者さんのお世話をしていると、お年寄りだけでなく自分自身にも喜びをもたらす、とても有意義な仕事だと実感し、行くたびにとてもうれしく幸せな気持ちになります。日本は私の目標を実現することを可能にする場所です。個々の人々と教育から多くの新しい事を学ぶことが出来てうれしいです。



私の将来の夢は、介護福祉士になることです。介護福祉士になるという事はとても大変だと思えます。ですが、私が介護福祉士になりたい理由は、少しでも人の役に立つ仕事をしたいからです。来年は介護福祉士の試験を受けるつもりですが、漢字がとても難しいので少し心配です。休みの日は日本語の勉強をして、ラヴィータで働いている時は職員の皆さんに日本語を教える機会もあって、日々日本語の勉強に努めています。日本語を上手に話したいですが、これからはもう少しお願ひします。

～ 第 3 7 号 ～
令和6年2月発行
認知症対応型共同生活介護
ラヴィータ・ドゥーエ
小規模多機能型居宅介護
ラヴィータ・トレ
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-15-6
TEL06-6147-8070 FAX06-6147-8071
http://www.lavita-uno.jp

ふうみ通信



クリスマスとお餅つき
年末恒例のクリスマス忘年会を12月20日に開催いたしました。利用者の皆さんにケーキとプリンをご用意し、昼食にはフライドチキンもご用意しました。職員一同が楽しさと穏やかなクリスマス会にすべく、利用者さんと和気あいあいとコミュニケーションを取りながらお食事を提供すると、皆さんマスの飾りつけに大変喜ばれ「いつもクリスマスやったら楽しいね」「たくさん食べたよ、ありがとう」と童心に返ったような笑顔を見せられていました。



デザートのケーキを召し上がっている時に、サントナカイに扮した職員が各フロアの利用者さんにプレゼントを手渡



すとは皆さん笑顔で嬉しそうに受け取り「クリスマスプレゼント有難う、開けるのが楽しみや」「プレゼント楽しみ、来年もよろしくね」と嬉しい言葉を頂き、盛況のうちにクリスマス忘年会を終えています。

続く29日は、お餅つきを行い、参加希望される家族様と共にピロティンにて白と杵をご用意し、各フロアの利用者さん家族交代で杵とお餅の感触を楽しみながら「白二白ポンポン」とリズムよく、時に戸惑いながらも歓声と共に搗き上がっていきました。搗きあがりのお餅を善哉にして皆さんほっこりと召し上がられています。一年のメの行事を無事終え、新年に向けて職員一同さらに楽しいムード創りと介護力の向上に決意を新たにしています。

10年という月日
あけましておめでとございます。今年には寒暖の差が激しく、またインフルエンザやコロナの流行も続いており、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。
10年という月日はここラヴィータ西九条が開設されて今年で10年になります。月日は早いもので、私も50歳になり、揚げ物などで胸やけしたり、腰やヒザが痛い時があったりと年齢を感じます。
今年に入り、当施設の最高齢の方が亡くなりました。この方が亡くなった事で、開設当初に入居された方が全て当施設を去る事になりました。現在利用中の方も含めグループホーム、小多機ホームを利用された方は延べ183人になります。本当にありがとうございます。また、これからもご愛顧よろしくお願ひ致します。
そして、3月末をもってケアマネの工藤が退職いたします。開設当初から一緒に頑張ってきた職員という事もあり一抹の寂しさはありますが、新たな道に進む彼女をこれからは応援し、期待しています。開設当初からの職員もこれで8名になりますが、開設時の想いは新たな職員に引き継がれ、弛まらず歩みを進めて参ります。



施設長 大西 秀

皆様 お世話になりました

私事で恐縮ですが3月いっぱいラヴィータドゥーエを退職することになりました。昨年の7月に父が亡くなり、87歳の母が一人になりました。母もまだまだ元気ですが、元気がうちに一緒に暮らしたいという気持ちで日に日に強くなり、実家のある神奈川県に帰ることにしました。東京から大阪に来てラヴィータに入職し約十年になりますが、支えて下さる仲間がいて先輩スタッフの助けが、日々悩みや困難に立ち向かい皆様と成長する事が出来ました。そして入居者様の笑顔や日常生活、時には涙や悲しみを分かち合う事が私にとってかけがえのない宝物になりました。
皆様のお人生の一部に触れ、お手伝いさせて頂いた事を誇りに思い感謝の気持ちでいっぱいです。また何より御家族様のご協力に感謝していただきます。この場を借りて改めてお礼申し上げます。
本当に有難う御座いました。

介護支援専門員 工藤 美幸



年の初めに思うこと

あけましておめでとう
おめでとうございます

24年が幕を開け、辰年の始まりです。陰陽五行説によると今年の「甲辰」というのは「努力してきた」とが実を結び成就する年「だそうです。ご家族様にとって喜びの多い一年になりますようお祈り申し上げます。そして私共は、本年も入居者様の笑顔満ち溢れる生活のお手伝いが出るよう精一杯サポートさせて頂きたいと思っております。



そんな和やかな中、突然の地震速報。しばらくすると施設内でも揺れを感じました。怖がる入居者様にそれぞれ声を掛けながら、これ以上揺れが強くなつた場合、皆さんをどう避難させたら良いかと色々な想定をし、最悪の事態に備えました。有難いことに揺れはすぐに収まり、入居者様も徐々に落ち着きをとり戻されましたが、私の中で「介護職員として入居者様の身体や生命を安全に守るため何が出来るのか」と考えさせられました。



さて、4階の元旦は朝から穏やかでした。入居者様同士の会話も弾み、ベランダから見える初日の出に手を合わせ、お願い事もしました。お昼には豪華なおせち料理に舌鼓を打ち、皆さん素敵な笑顔です。中には「このご飯の方が美味しいなあ」などと嬉しいことを言ってくれる方も。



今もまだ自問自答は続いていますが、新年早々身の引き締まる思いです。
4 F 石田 理絵

新しい年を迎えて

明けましておめでとう
うございます。
クリスマス、誕生日会、餅つき大会等イベントが盛沢山で慌ただしくも楽しかった十二月も終わり新年を迎えました。



お正月も過ぎ、一月の食のイベントとして18日には551蓬菜パーティーを開催し、豚まん、天津飯、小エビの天ぷら、八宝菜を買ってきてみんなで食べました。久しぶりの豚まんに食が進む入居者の方も多く「美味しかった」「また食べたい」「2個でも食べられるわ！」等喜ばれていました。



今年もご家族様と一緒に入居者の方々が健康で楽しい毎日が過ごせる様、季節の行事やイベントをたくさん企画していきます。
3 F 松原 結生

皆で楽しく運動会

23年も残すところあとわずかか...となった12月9日に2階フロアでは運動会を開催しました。本番の数日前、普段「歩くの嫌だ」と仰っていたW様は運動会の開催を伝えると「歩く」と頑張つて歩行練習。他の皆さんも風船バレー・ボーリングの練習を行い本番に臨みます。



本番当日、まずは手製の稲荷ずし・卵焼き・唐揚げ・ポテトサラダ等々皆さんの好物が詰まったお弁当をペロリと平らげ、さあ競技開始!と思いきや? お腹いっぱいいで睡魔に襲われ「眠たい!」と一時は参加拒否のM様でしたが職員の一人在「先生!」と声を掛け皆も一斉に「先生!」と声を掛けM様を起こし、先生になり切ったM様からの開催の挨拶で運動会がスタート。



2チームに分かれて風船バレー・個人戦のボーリング・最後は待ちに待ったパン食い競争!の順番で競技を行いました。風船バレー・ボーリングは入居者様に交わって職員も負けじと必死です。最後のパン食競争の景品(どら焼き)が3時のおやつだと知った入居者様達は高く紐に吊るされたどら焼き目掛けて大きな口を開け背伸びしながら一生懸命に参加されました。笑顔、笑い声の絶えない時間が続いています。



24年も皆揃って笑いの絶えない日々を過ごせました。
2 F 坪内 弘美

初めまして

去年の11月からラヴィータドワーエの4階フロアに正社員として入職しました。子どもの頃から祖母との交流はありましたが少なく、心残りがあつたのでこの仕事に就きました。



日本に来て、特別養護老人ホームに実習生として3年間働きました。前の職場での経験を活かし、自分自身が人と話をするのが好きな事もあり、グループホームで働きたいなと思つた時に、この施設を知り、入居者様と一緒に外出したり、買い物に行ったり、談話したり一緒に家事仕事をするなど祖父とあまじりできなかったことが仕事で出来ることわかったので選びました。

実際に働き始めて、一人一人としっかり話をする時間も、その中で行きたい場所や食べたいものを一緒に考えて計画を立て実際に外出にも行きまじうれしそうな表情を浮かべたり、普段食事に量が少ない入居者様も自量が少ない入居者様も自分を選んで入居されたのだから選んだものはしっかり食べてほしいなと思つた。美味しかったわ!」などの言葉をもらえたりやりの言葉も感じ、もつと入居者さんに喜んでもらえるように計画を実施したいと思つた。

まだまだ分からないことも多いので4階の職員と協力しながら頑張りたいと思います。
4 F ヌアム・カン・ファイ

今年もサンタがやって来た!

明けましておめでとう
今年も宜しくお願致します。
去年を振り返るとコロナ禍で出来なかった行事が少しずつ出来る様になり、クリスマス忘年会も盛大に行え大変うれしく思います。各入居者様の顔を思い浮かべながらプレゼントを用意するところから始まり、当日はサンタクロースやトナカイに扮した職員が各フロアを回り一人一人にプレゼントを手渡すと「ありがとう」「何が入ってるんやろ」「開けてもいい?」と笑顔で受け取り、サンタやトナカイと記念撮影です。



皆さん生き生きとした表情で楽しそうでした。施設からクリスマスケーキが配られると「美味しいわ!もう無いの?」とお代わりを欲しいがる人も...。笑顔の中、無事にクリスマス忘年会が終わりました。

来年も季節の行事を開催し、ご家族の皆さんも参加でき、みんな笑顔で過ごせる一年になればと願っています。
まずはもうすぐ節分とバレンタインデーがあります。3月はひな祭りがあり、職員は大忙しで嬉しい悲鳴をあげながら企画しています。乞うご期待を...
3 F 蓑田 麻須巳

Hさん、卒寿おめでとう

1月18日「卒寿」のお誕生日会を開催しました。本人の食べたい「サンドウィッチ、クリムグラタン」を手作りしました。食べている時「これは美味しい、美味しい姉さん」と言つて喜び、完食されました。おやつには誕生日ケーキとして、予約注文した「フルーツシフォンケーキ」も自分でスプーンを持って食べっていました。ケーキの上のイチゴもチョコのプレートも切つて渡すと喜んで「美味い」と言いながら食べていました。



お礼後も満足そうに嬉しそうな顔をして、その日一日、ご機嫌でした。時折息子さんの名前を出し「〇〇ありがとう」と言ったり、職員からのお祝いの言葉に照れていました。今回、H様の90歳の卒寿のお祝いに参加出来てすごく良かったと思つきました。本氏の喜ぶ顔やしぐさも、最近あまり見られなかつたので、本当に喜ぶ姿や表情が見られて良かったと思つきました。

食べ終わっても周りを眺めて、まだ欲しいそうに思っていました。「美味しかったです。ありがとう、ありがとう」と2度ほど職員顔を見てお礼を言ってくれました。



2 F 大塚 香奈

ラヴィータのフロア各階でもそれぞれ飾りつけがされており、見たりも華やかな年明けになりました。3階では手作りの鳥居に手を合わせお参りし、みんなで絵馬に願ひ事を書いたり、書初めでは個性豊かな習字が飾られました。三が日にはおせちやお雑煮、お寿司、すき焼き等お正月らしいメニューを沢山お正月を皆さん過ごされました。



2 F 大塚 香奈